

共に創る学び（第1年次） －「広がり」「深まり」を大切にした授業づくり－

これからの社会に求められる子供の育成に向けて、「共に創る学び」を主題に設定し、他者と共にお互いの力を生かしながら課題を解決することを大切にしたい授業を目指しています。

共に創る学びを「他者とのかかわりの中で、共に考えを広げ深めながらよりよい考えを生み出し、共に学んだよさを自覚する学び」と考え、友達とお互いに考えを伝え合い集団や個人の考えを広げたり深めたりすることで、「見方・考え方」等の学習でねらいたい資質・能力や学びの過程のよさを得ることができると目指しています。

29年度は、他者とのかかわりを「広がり」「深まり」の2つの視点でとらえ、それぞれの視点を大切に授業づくりを進めています。

「広がり」は、子供が課題に対する多様な考えを共に得ようとして、相手の考えを引き出したり相手の考えとの共通点・相違点を把握している姿です。他者の考えを求めて、友達と相互にやり取りを行うことで、お互いの考えを理解し合い、自分の考えだけではない考えを得ることができる姿を目指しています。

「深まり」は、子供が課題に対するよりよい考えを共に探ろうとして、お互いの考えを批判的に検討したり調和的にまとめたりしている姿です。他者とのかかわりの中で得られる考えや視点で、集団や個人の考えを多面・多角的に検討したり、他者の考えを尊重しながら集約・選択することで、より多くの人同意できる客観的な考えにしたりする姿を目指しています。

「広がり」「深まり」それぞれの視点で目指す子供の姿を大切に、各教科等で指導方法を工夫しています。